

## 扇田病院の医療機能の見直し案について

令和 8 年 1 月 7 日  
大館市病院事業

大館市立扇田病院は、令和 6 年 3 月策定の大館市病院事業経営強化プランにおいて、入院患者の減少及び医療従事者の安定的確保の観点から令和 7 年 4 月から 1 病棟 40 床体制としながら、回復期・慢性期入院医療のほか地域の外来診療、在宅医療、健診機能を担うこととしたところです。

しかしながら、地域の医療需要の変化や医療従事者の確保が困難さを増すなど病院経営を取り巻く状況が大きく変化する中で、扇田病院の医療機能の更なる見直しを進める必要があります。

大館市が開設する大館市立総合病院と扇田病院が、自治体病院として公共性と経済性の均衡を保ちながら地域医療における役割を継続的に果たしていくために、下記のとおり、扇田病院の診療体制の見直しを図る方針としていますのでお知らせします。

### 1 見直しに当たっての考え方

#### (1) 入院患者の減少等に合わせた地域全体での入院受入体制確保

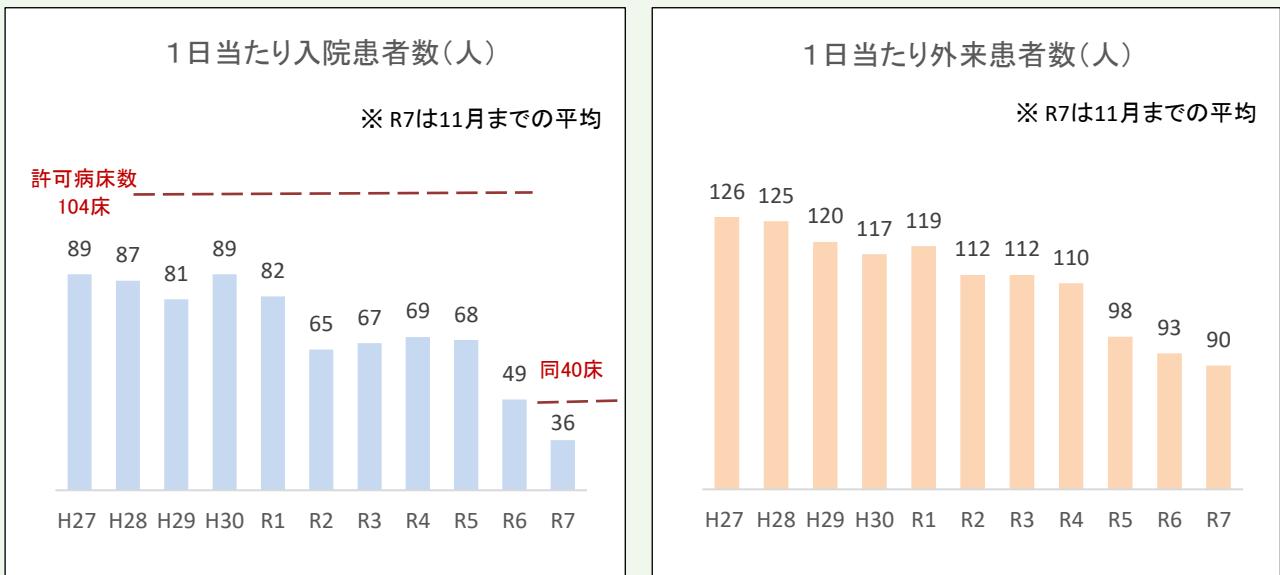
- ・ 地域（医療圏）における入院患者の減少と医師、看護師等、医療従事者確保の観点から、現在、扇田病院が担っている入院機能については大館市立総合病院及び大館・鹿角医療圏内の回復期・慢性期病院との連携を強化することで、**病院単体ではなく地域全体として対象患者の入院受け入れに対応**していくものであること

- ・ 医療従事者不足など医療を取り巻く環境が全国的に厳しさを増している中で、**大館市立病院の一定の機能集約と他病院との連携を強化することで地域医療の持続を目指す**ものであること

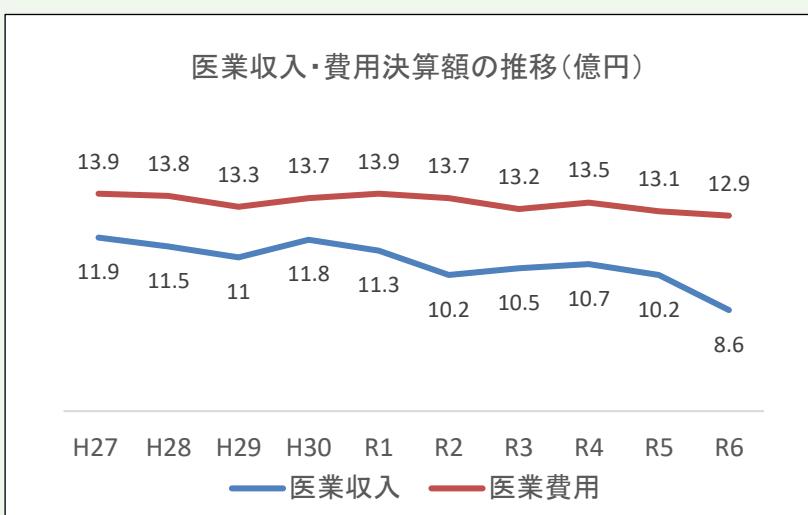
#### (2) 外来診療などの継続

- ・ 地域に必要な**外来診療などの継続を目指す**ものであること

## 2 扇田病院の患者数等の現状

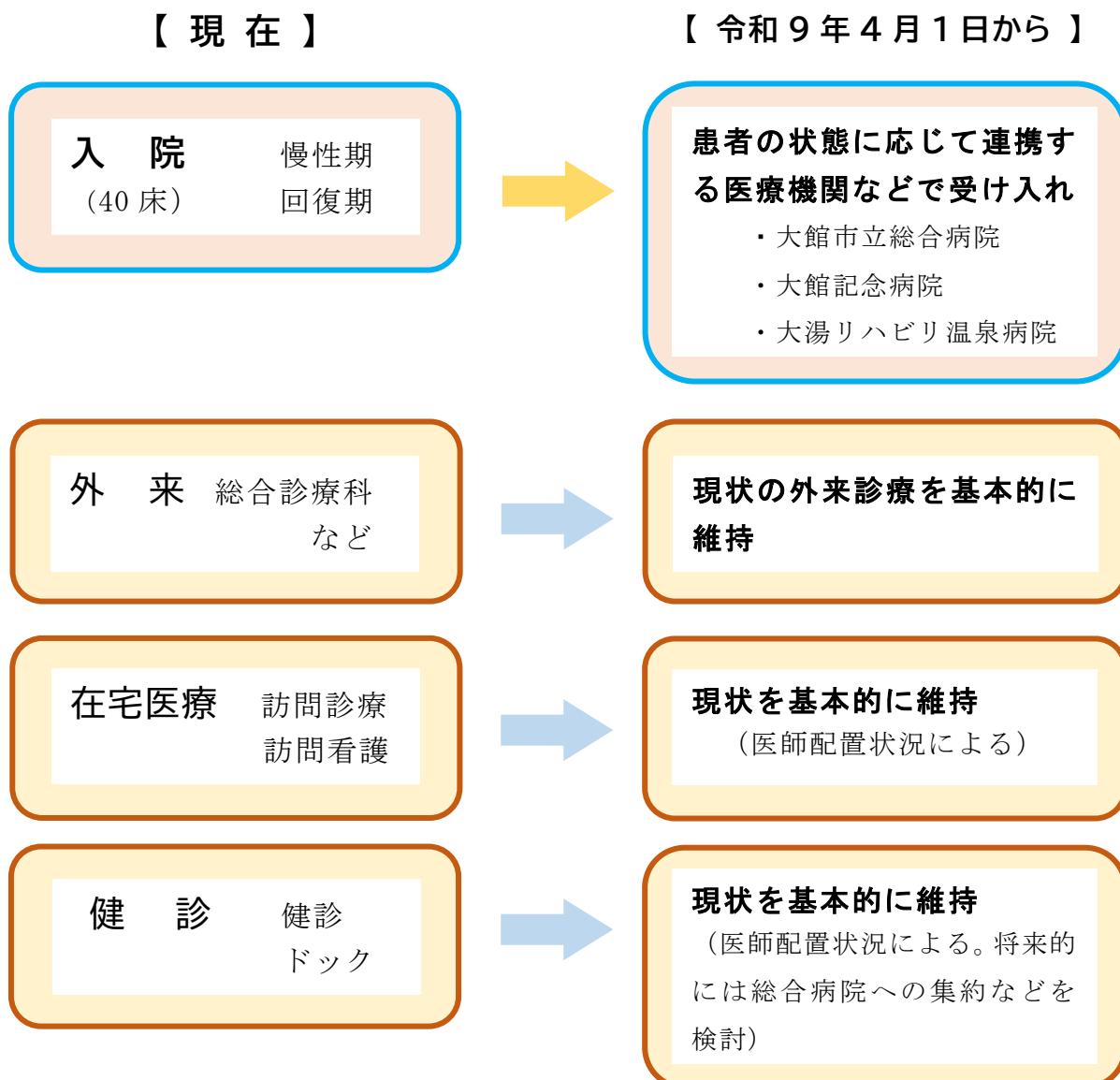


- ・入院患者数が減少を続けており（R7から病床減）、病床の維持が困難な状況
- ・外来患者数も同様に減少で推移



- ・人口減少等から患者数が減少し、医業収入は10年間で28%減少
- ・一方で、医業費用は約13億円と同規模で推移し、財政的に厳しい状況が継続している

### 3 扇田病院の今後の体制について（案）



#### (1) 入院機能

- 令和9年4月1日から、地域医療連携推進法人を構成する3病院（大館市立総合病院、大館記念病院、大湯リハビリ温泉病院）の機能を発揮しながら、現在の扇田病院の入院患者及び扇田病院の外来診療において入院医療又は2次医療が必要と診断された患者を受け入れ

#### (2) 外来・在宅・健診機能

- 地域の拠点として総合診療科などの外来診療、在宅医療、健診を継続

## 4 収支見通し

### (1) 現在の病床を維持する場合

(単位：百万円)

	R6 決算	R9 見込み	R12 見込み	R17 見込み
医業収益	861	859	792	796
医業費用	1,290	1,128	1,091	1,077
① 医業収支	△429	△269	△299	△281
② 純損益	△278	△144	△194	△202
③ 資金不足額	<b>666</b>	<b>853</b>	<b>1,354</b>	<b>2,292</b>
④ 一般会計繰入金	212	194	164	133

- 扇田病院はこれまで、患者数の減少等により資金不足額が年々拡大してきたが、令和6年度及び7年度は人件費と物価高騰等の影響が特に大きく、現状の病棟体制を今後も維持する場合は収支改善を望むことは極めて困難となっている
- 資金不足額（注1）は増加し続けると試算され、総合病院を含めた地方財政法上の資金不足比率（注2）は極度に悪化し、病院事業全体の医療機器更新や施設・設備改修など計画的・安定的な医療提供体制の整備に多大な影響が生じる恐れがある

(注1) 資金不足額 = 年度末時点の流動資産の額から流動負債の額を差し引いた際に生じた不足（マイナス）の額

(注2) 資金不足比率 = 資金不足額／事業の規模

### (2) 診療所（外来、在宅、健診）に移行する場合

(単位：百万円)

	R6 決算	R9 見込み	R12 見込み	R17 見込み
医業収益	861	243	169	171
医業費用	1,290	409	214	192
① 医業収支	△429	△166	△45	△21
② 純損益	△278	45	10	△10
③ 資金不足額	<b>666</b>	<b>706</b>	<b>609</b>	<b>618</b>
④ 一般会計繰入金	212	156	80	18

- 診療所に移行する場合は、資金不足は拡大しない見込みである

## 5 持続可能な医療提供体制の整備のために

- ・市立病院が将来にわたり市民や圏域住民の健康を守り続けるためには、経営基盤の強化による持続可能な医療提供体制の整備が不可欠です。
- ・このたびの扇田病院の医療機能の見直しは、地域から医療をなくさないために大館市病院事業で取り得る方策を速やかに講じていくためのものと考えています。

## 6 今後の予定

- ・大館市在宅医療介護連携推進協議会
  - ・秋田県地域医療構想調整会議
- ※ 開催時期はいずれも調整中